



ちゅうりっぷ組だより 3月号



平成30年3月20日 こどり保育園 担当:鈴木

暖かな日差しに春の訪れを感じるこの頃。

先日、「人形遊び」をしました。

以前は抱っこをするだけでしたが、おんぶ紐を持って「やて(おんぶさせて)」と保育者に声を掛ける子や、玩具のミルクを飲ませてあげる子、「トントン」と言いながら人形を寝かしつける子とさまざまな姿が見られました。

「赤ちゃん」と保育者に人形を見せて洋服を着せてあげようとする子もあり、「自分より小さい子」という認識でお世話をする姿に、一人ひとりの心の成長が感じられました。

また給食の時間に椅子に座ると保育者が声を掛ける前に両手を顔の横で合わせお眠りのポーズをする子ども達。「いただきます」と手を合わせたり、

「いーます(いただきます)」と元気な挨拶も聞かれます。

食事が進むにつれ、スプーンと食器がぶつかる音が大きくなり「集まれ」(残ったおかずを集める作業)も自分でやろうとしています。

入園した頃に比べ、心も身体も大きくなりました。

至らぬ点も 時々たことと思いますが、保護者の方と共に近くで成長を見させていただけたことを嬉しく思います。

一年間ご協力いただきありがとうございました。

